

洞爺湖町議会平成27年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
<p>13番 下 道 英 明</p>	<p>1 .空き家対策について</p> <p>2 .広域観光圏について</p>	<p>(1) 洞爺湖町の空き家の実態は。</p> <p>(2) 問題のある空き家を特定空き家と定義し、町が空き家立入調査を行ったり、指導、勧告、命令、行政代執行の措置をとったりできるよう定めた空き家対策特別措置法が制定されましたが、町としての見解を伺います。</p> <p>当町としてこの法律に対する認識と見解は。</p> <p>空き家対策協議会の設置は。</p> <p>特別空き家対策の取り組みは。</p> <p>空き家等及びその跡地の利用促進は。</p> <p>当町独自の空き家対策としての撤去などの支援策は。</p> <p>(1) 西胆振と羊蹄山麓を中心に15市町村が振興局の垣根を越え、地域活性化に連携する方針を決め、(仮称)羊蹄山麓・西胆振地域広域連携会議を発足した。今後どのように連携を模索するのか、将来ビジョンを伺う。</p>	
<p>8番 沼 田 松 夫</p>	<p>1 .安全・安心のまちづくりについて</p> <p>2 .地元出身者対策について</p>	<p>(1) 使用済みガスボンベやスプレー缶の回収方法が各地で変更する機運にあるが、わが町はどうするのか伺いたい。</p> <p>穴開け回収を続けるのか、続けるのであれば、処理方法等を今一度周知するべきと思う。</p> <p>当町でのスプレー缶等による事故はあったのか伺いたい。</p> <p>(2) 町内の公共施設のトイレ照明について、電気料の節約により危険を増している。自動点滅にすべきと思うが、出来ないか。</p> <p>(1) 「ふるさと住民票」制度をつくり、移住や交流人口増につなげないか。他市町村ではどんなことをしているか伺いたい。</p> <p>(2) 札幌とうや湖会や東京あぶた・とうや湖会の会員に町広報誌を送ることが出来ないか。会員数の維持や増強になるのではないか。主要なイベントなどは、お知らせするようにすべきと思う。</p>	

洞爺湖町議会平成27年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
8番 沼田松夫		(3) 東京あぶた・とうや湖会が今年40周年を迎えるようだが、なにか支援策を考えているのか。	
3番 五十嵐篤雄	1 .洞爺湖町誕生100年を節目に新たな洞爺湖町づくりの考え方と決意について 2 .高齢者が楽しく安心して暮らせるために	(1) 次年度に向け、10年を意識した行事を計画しているのであれば具体的に伺いたい。 (2) 新たな洞爺湖町のスタートに際し、この10年間をしっかりと検証することが重要と思いますが、まず行政として良くなったと把握している事柄は何か伺いたい。 (3) 二つの自治体の制度や公共料金の一本化を始めとして、町民の融和や交流に努力をされてこられました。しかし、洞爺地区にあっては、予想外の大きく早い変化に戸惑いを隠しきれません。行政が考える住民が期待する地域の形を示して頂きたい。 (1) 一人暮らしの高齢者の実態について、どのように把握されているか伺いたい。(健康度・持家・仕事・生活・ボランティア団体の活動の観点から) (2) 地方創生で日本版CCRCが注目されています。当町も「まち・ひと・しごと創生有識者会議」で、洞爺湖町版CCRCを調査研究しているが、どのような中身で日本版との違いを伺いたい。 (3) この制度を移住者の受入れ政策に限定せずに、当町の高齢者にも適用できる先進的なモデル地区になれないかも研究いただきたいかがか。 (4) 胆振周辺の自治体での設置は把握していないが、札幌市などの公園に高齢者向けの健康遊具が設置されているが、児童公園に数個設置してはどうか。 高齢者の健康づくりと共に、世代間交流の機会にも繋がるのではと思われる。	

洞爺湖町議会平成27年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
1番 岡 崎 訓	1 .国道と道々に対する町の対応について 2 .活力ある地域づくりについて	(1) 国道230号と道々洞爺岩内線の交差点の安全対策(山側ののり面)について伺う。 (2) 国道230号の側溝の現況と今後の取り組みについて伺う。 (1) 現在、旧成香小跡で某大学が調査研究等を行っているが、その大学(学部)の誘致(住民票移動、寮)を図り、人口増、地域の活性化につなげる地域創生を図る考えを伺う。 (2) 洞爺ふれ愛センター等の外壁、屋根の現状と今後の管理(メンテナンス)について考えを伺う。	
12番 大 西 智	1 .社会教育について 2 .農業、畜産の振興対策について	(1) 平成27年度教育行政執行方針における青年、成人のリーダー養成の具体的な取り組みをどのようにされているのか。 (2) 若者が生涯学習をするための環境づくりと、研修事業等を推し進める考えは。 (1) 諸外国との競争が激化している農、畜産物を洞爺湖町ブランドで有利販売するため、多面的事業が行われているが、現在の状況と、これまで行われてきた事業の検証はされたのか。 (2) 産業団体であるJAとうや湖との関わりは。 (3) 今後、洞爺湖町の基幹産業である農業、畜産業を、どのように考え、推し進めていくのか。	
5番 千 葉 薫	1 .観光施設の利用状況及び今後について 2 .少子化・子育て支援対策について	(1) 各施設の利用状況は。 (2) 昨年、観光施設検討委員会が設けられているが、その協議内容について。 (3) 洞爺湖森林博物館の改修及び屋内の展示物なども考えていくべきと思うが。 (1) 近隣他市町と比べても、人口の減少率は大きいと思う。少子化・子育て支援対策として、どのような事を行っているのか。また、その事業は他市町と比較して魅力的なものとなっているのか。	

洞爺湖町議会平成27年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
5番 千葉 薫		<p>(2) 少子化・子育てに対して、悩みや要望などがあると思うが、どのように把握しているのか。また、その対応は。</p> <p>(3) 当初予測されていた出生率について、それを上げるということで、今後努力を重ねるということだが、予算の問題もあるが、具体例があれば示して頂きたい。</p>	
10番 七戸 輝彦	<p>1 .毒蛾の大発生とこれからの対策について</p> <p>2 .高齢の方も使える公園について</p> <p>3 .人工芝サッカー場と旧月浦小の解体</p>	<p>(1) 今年は例年に見られないほど、毒蛾が発生した。統計は無いかと思うが、これほどの事は過去にあったか。</p> <p>(2) 広報のページを大きくとり、注意喚起をしてきたが、病院に行く时必须と言っていいほど毒蛾が原因とみられる患者がいた。町内で通院した数等を把握していれば伺いたい。</p> <p>(3) 公営住宅等、町営施設内でも毒蛾には悩まされたようだ。住民から相談もあったと思うが概ねの数と対応は。</p> <p>(4) 今後に向け、毒蛾の発生を抑えるべきと思うが、その手段は。</p> <p>(1) 少子化が進み、町内の公園で遊ぶ子供の姿が、めっきりと減ってきているような気がする。主な公園の利用状況は、どのように変化しているか。</p> <p>(2) 高齢の方にはパークゴルフ場が人気だが、高齢の方が集える公園も将来は必要と思う。今の公園と別に作るのではなく、その中にシルバーの為のスペースを設けてはどうか。高齢者用の遊具も開発されている。時間をかけて研究する必要があると思うが。</p> <p>(1) 人工芝サッカー場建設の為、旧月浦小学校が解体される。改めて、建物解体、整地、出来ればその後のタイムスケジュールを伺っておきたい。</p> <p>(2) 旧月浦小学校は地域の歴史とともに存在した、町内最後の木造校舎だ。私的心情としては、取り壊すのは残念な気もある。例えば、虻田小学校の前あるモニュメントの様に、学校の歴史</p>	

洞爺湖町議会平成27年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
10番 七戸輝彦		を後世に残す事も必要と思うが、検討しているか。	
6番 立野広志	1 .投票区及び投票所の見直しについて 2 .後期高齢者医療について	<p>(1) 各種選挙にともなう投票区及び投票所の設置根拠は何か。</p> <p>(2) 高齢者や交通機関が不十分な現状で、有権者の政治に参加する権利や投票権を保障するとともに、投票しやすい環境を整備することは、必要ではないか。</p> <p>(3) 投票区によっては、投票所までの距離が長く、交通の便も悪いなどから、投票に行きづらいとの声もあるが、これまで改善のための検討が行われたことがあるか。</p> <p>(4) 町選挙管理委員会が、投票にかかる環境整備の一環として、地域の実情も踏まえたうえで、「身近さ」と「バリアフリー」をキーワードに投票区・投票所の見直し（増設や足の確保）を行う考えはないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠距離投票区の解消 ・国道・道道など広幅員道路横断からの解消 ・投票所のバリアフリー ・快適性の向上 <p>(1) 保険料の相次ぐ値上げ、特例軽減税率保険料値上げの影響見直し 後期高齢者医療の被保険者の収入区分ごとの人数と構成比率を示されたい。 保険料滞納者の推移（H23～H26の間） 保険料滞納者に対する対応状況 （差し押さえ、資格証発行、短期保険証発行、納付相談等の実施状況） 洞爺湖町における特定軽減措置の対象者の状況は。 特例軽減措置が廃止された場合のそれぞれの影響額（負担額）を示されたい。 特例軽減措置の廃止による810億円にのぼる政府・厚労省の医療費削減方針に対して、高齢者のいのちと暮らし、健康を守る立場から撤回を申し入れるべきではないか。</p>	

洞爺湖町議会平成27年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
6番 立野広志		<p>(2) 第2次「北海道後期高齢者医療広域連合広域計画」による町の事務成果について。</p> <p>道の「第二次広域計画」(平成25年度～29年度適用)実施に伴い、事業が市町村に委託され、とりわけ入院日数の短縮について目標持って取り組む問題、重複・頻回について、2年間の実績を通じてどう変化したか。それぞれの対象者数と結果を数字で明らかにされたい。</p> <p>結果は見るべき効果があったといえるか。その原因は何か。</p> <p>(3) 健康診査の実施状況と検診率向上のための方策について</p> <p>町としてその機能と体制が整っていたか。本当の意味で医療費適正化を実現しようとするのであれば、きめ細やかな健診受診率の向上のための政策を抜本的に改善することが必要ではないか。</p> <p>平成25年と26年の受信者数及び受診率を示されたい。</p> <p>後期高齢者医療の被保険者に対し健康審査を実施する、実施主体は広域連合だが、実施方法としては、広域連合が、市町村に健診事業を全部委託して実施することとなっている。この間、道広域連合の委託を受けて、健康審査を実施した経緯はあるか。</p> <p>健康審査の受診勧奨を行うために、後期高齢者医療の被保険者情報の提供についての依頼を道広域連合に行ったことがあるか。</p> <p>道広域連合は、健康づくり事業において、町が実施する健康講話・健康相談に対する保健師の派遣、情報提供等の支援及び人間ドック等を実施する自治体への費用助成を行うとともに、医療費分析を行い、その結果を市町村に提供するなどの「保健事業に関する事務」を行っているが、そうした実績と成果はあるか。</p> <p>「後期高齢者健康診査の手引き」(H25.6発行)をどのように活用しているか。</p>	

洞爺湖町議会平成27年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
6番 立野 広 志	3 .構想段階から多額な赤字が想定されるサッカー場建設について	(1) 建設の目的は何か。 (2) 月浦地域のまちづくり(地域振興)の考え方は。 (3) 建設後の経済効果とその具体的根拠は何か。 (4) 建設費用とその財源の見通し、その根拠は。 (5) 建設費及び運営費の一部でも民間からの財源確保を図る考えはなかったか。	
2番 越前谷 邦 夫	1 .安心安全な地域社会創造に向けた防犯対策について伺う。とりわけ子供を犯罪から守る対策について 2 .北海道新幹線開業に向けた洞爺湖町の取組みについて	(1) 洞爺湖町教育現場で、どのような防犯教育が行われているのか。その教育内容とは。 (2) 防犯は、社会全体の協力で進めなければならない。北海道内で2014年に飲酒や喫煙など、不良行為により補導された少年は1万5,000人、内5,000人余りが深夜徘徊だった。洞爺湖町の実態は。 (3) 社会の連携で犯罪を防ぐことが重要である。学校や補導員だけではなく、保護者や行政、地域の人達が連携して、子供達に声をかけることで、悲惨な事件を食い止めたい。子供達を犯罪から守るための地域社会、大人の役割は。 (1) 北海道新幹線開業まで約6ヶ月となった。洞爺湖観光の躍動に向けた官民一体となった施策はあるのか。	